

人々の共生と子どもたちの未来にむけて World Music Festa

♪ 横田めぐみさんの一刻も早い帰国を願って！

出演：吉田直矢（ヴァイオリン／横田めぐみさんの中学時代同級生）、河崎恵（ピアノ）
特別ゲスト：横田滋・早紀江ご夫妻
予定曲目：ジョニーがいなくて、「四季」より夏、チキリンデバチン、リベルタンゴ
カルメン幻想曲、コスモスのように（作詞：横田早紀江）



♪ 子どもの未来と音楽の力で豊かな創造性を！

出演：スズキ・メソードの子どもたち（ヴァイオリン合奏）
挨拶：木村眞一<公益社団法人才能教育研究会（スズキ・メソード）業務執行理事>
予定曲目：ユーモレスク、きらきら星変奏曲 ほか



♪ 教育の機会均等、子どもの貧困解消を願って！

出演：山口蘭子（ヴォーカル／シャンソン）、桑山哲也（アコーディオン）
トツィー戸塚（ピアノ）、今関和彦（ドラム）、竹内秀夫（ベース）
予定曲目：（演奏）パリの空の下セーヌは流れる（歌）パリはシャンパン、さくらんぼの実る頃
歌い続けて、夏蜜柑の花～お母さんありがとう～、愛の讃歌



♪ みんなで歌おう！（「ふるさと」合唱）



総合司会：小浦瞭子 Ryoko Oura（音楽サロンプロデューサー）



吉田直矢

山口蘭子

2015 ワールドミュージック・フェスタ



2015年 9月25日(金) 18時30分開演／18時開場

中央区立日本橋公会堂大ホール（中央区日本橋蛸殻町1丁目31番1号 4階）

半蔵門線「水天宮前」駅6番出口から徒歩2分、日比谷線「人形町」駅A2出口から徒歩5分、東西線「茅場町」駅4-a出口から徒歩10分
都営地下鉄浅草線「人形町」駅A3・A5番出口から徒歩7分、中央区コミュニティバス（江戸バス）北循環25「日本橋区民センター」下車0分

一般 ¥4,800（高校生以上） 小人 ¥2,200（小・中学生以下） <全席自由>

チケット申込み：ワールドミュージック・フェスタ 実行委員会 事務局 クボタ ☎ 080-2200-3777

主催：2015ワールドミュージック・フェスタ in 日本橋 実行委員会

✉ ksdpolyglot@yahoo.co.jp

照明・音響・記録：CAVALLINO キャバリーノ 内田邦明（株式会社内田 代表取締役）

※内容・曲目・出演者は都合により変更することがあります。※コンサートの収益金の一部をもってあさがおの会の活動を支援させていただきます。



＊ 出演者プロフィールとメッセージ ＊

吉田 直矢 Naoya Yoshida

5歳より、スズキメソッドでヴァイオリンを始める。

東京都立芸術高等学校、桐朋学園大学を卒業し、パリ・エコール・ノルマルに留学。(故)セルジュ・ブラン氏(元パリオペラ座ソロコンサートマスター)に師事。留学中、パリで開催された第65回レオポルド・ベランコンクール第1位、第10回バッハ国際コンクールで最優秀賞を受賞。

帰国後、ヴァイオリンとギターを中心にインストROCKバンド<ROSE>結成。

1996年アルバム『ROSE』(ドラマ「29歳のクリスマス」挿入曲収録)をアンティノスレコードよりリリース。その後解散。

1999年7月東京オペラシティにてソロ・コンサート「VIOLIN DE NIGHT」シリーズ開始し、その後28回開催。

2001年アルバム『VIOLIN DE NIGHT』をリリース。

2003年ヴァイオリン、ピアノ、パーカッションによるアコースティック・パッション・オーケストラ、〈吉田直矢・APO〉を結成。

2004年より247music del Gesuレーベルより、『Carmen』『short piece』『La Traviata』『The APO EXPERIENCE-short piece II-』の各CDをリリース。

2010年には名古屋国際会議所で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催レセプションでは4代目江戸家猫八氏と共演。

2013年 長嶋茂雄氏の国民栄誉賞受賞祝賀会に出演。

又、新潟市立寄居中学校では横田めぐみさんと同級生でもあり、「あさがおの会」が制作した短編映画「『ただいま』の声を聞くために」にも出演。

めぐみさん救出に向けたチャリティコンサートも手掛けている。

吉田直矢オフィシャルウェブサイト <http://www.naoyayoshida.net/>

横田めぐみさんの一刻も早い帰国を願って！

当時わずか13歳だった横田めぐみさんが、11月15日に北朝鮮に拉致されてしまってから38年という、信じがたい月日が経とうとしています。

めぐみさんは、その後、ただの1度もご家族と会えないまま、今年51歳になってしまいました。当時、僕はめぐみさんと同級生で、同じ通学路で通っていました。

めぐみさんのご両親は、38年間で、めぐみさんの安否さえ分からないという大きな不安を抱えながら今になっても、訴えを続けなくてはならない生活を余儀なく

されています。今年こそ、今年こそと希望を持ち、期待しながら、結局期待は裏切られ続けて、月日だけがどんどん経って行ってしまう。

本当に時間がなくなってしまった今、頼りになるのは、皆さん、お1人お1人のお気持ちと、拉致問題解決に向けた強い世論喚起だと思えばかりです。

今日は音楽と、あさがおの会さんが制作された映像のコラボレーションで、改めてめぐみさん、そして横田さんご家族のお気持ちを共に出来るような機会にさせて頂きたいと思っております。



スズキ・メソッドのご紹介

スズキメソッドでは、音楽を通じて文化人、国際人を育てたいと考えています。教室では、幼児から大人まで日々練習に励んでいます。

今回は、子どもたちを中心にスズキ・メソッドの伝統をうけつぐ成果をお届けできればと思います。指導者からみなさんへのメッセージ「明るく！楽しく！元気よく！」

スズキ・メソッド銀座教室 <http://suzuki-ginza.com/>

子どもの未来と音楽の力で豊かな創造を！

赤ちゃんが、お父さんやお母さんの話す言葉を毎日繰り返し聞いているうちに、いつのまにか自然に覚えて、話せるようになっていくことに！

これがスズキ・メソッドの創始者 鈴木鎮一の、耳から育てる「母語教育法」の基となりました。この教育法は世界46ヵ国に広がり、音楽だけでなくいろいろな

分野に生かされています。一つ、二つ、三つ、・・・“つ”のつく時期の子どもの脳は柔らかく何でも吸収していきます。人格や個性もほとんどこの時期に確立します。

ですから乳幼児期の子どもの良い環境の中で育てることを、一番に考えましょう。

生まれたときから芸術的にすばらしい音楽を、たくさん聴くことをスズキ・メソッドでは大切に、半世紀以上にわたって親とともに取り組んできました。

幼いころから常に良い演奏を聴き、繰り返し練習することで、自然と楽器に親しみ、やがて誰もが弾けるようになります。

創始者 鈴木鎮一の「母語教育法」は、子どもたちの集中力と記憶力を育みます。親と子と先生で取り組むこの教育法は、愛と絆を育てます。

2010年6月、幼児から大人までの皆様を対象に、バイオリンとチェロのスズキ・メソッド銀座教室を、東京のどこからでも容易にアクセス出来る、関東の中心地

(東京都・中央区・銀座)に開校しました。子どもたちの日頃の練習の成果を体験いただきたいと存じます。



山口 蘭子 Ranko Yamaguchi

早稲田大学フランス文学科卒業。NHKオーディション合格。シャンソンを芦野宏氏に師事。バリ祭出演。日本コロムビアよりデビュー。

国際放送、FMなど多数出演。ラテンの名門“有馬徹とノーチェ・クバーナ”専属歌手を経て、メキシコのマリアッチ“ドスミル”、コンチネンタル・タンゴのマランド楽団、

アルゼンチン・タンゴのドミンゴ・モーレス楽団、マルコーニ楽団など世界の一流楽団とのCD多数。

2004年英国BBC放送にアルゼンチン・タンゴの現代に活躍する歌手として選ばれ、インタビューを受ける。明治大学マンドリン倶楽部の客演として全国公演でも活躍。

また作詞・訳詞も手がけ、2009年オリジナルアルバム「愛のタンゴ」を、2012年シャンソン2枚組CD「愛の道」を日本コロムビアより発売。

2014年オリジナルシングル「ステージ」を日本クラウンよりリリース。

「愛のタンゴ」「ステージ」「愛のかげろう」「夏蜜柑の花～お母さんありがとう～」など有線・第一興商カラオケ配信。

2015～2016年アルゼンチン・タンゴコンサートに菅原洋一氏、西塔祐三とオルケスタ・ティビカ・パンパ、チコス・デ・パンバラと出演。

ホームページ <http://www.yamaguchiranko.com/>

教育の機会均等と子どもの貧困解消をめざして！

2012年10月、教育を受ける権利を願ったパキスタンの少女マラル・ユスフザイさんが武装集団に銃撃され、瀕死の重傷を負うも奇跡的に一命をとりとめました。

2014年ノーベル平和賞を受賞。国連での素晴らしいスピーチは記憶に新しいところです。

現在、多くの子どもたちが教育の機会を渴望しています。世界各地のストリートチルドレンや難民の子どもたちの報道も絶えません。

また、日本の「子どもの貧困問題」にも衝撃を感じます。どの子どもも等しく教育を受ける条件をつくっていきけるよう、皆様と力を合わせていきたいと願っております。



小浦 瞭子 Ryoko Oura

北海道小樽市生まれ。麹町女子学園卒業。音楽サロンプロデューサー。自主企画のサロンコンサートを数多く手掛ける。

その音楽ジャンルは広く、クラシック、ジャズ、邦楽、民族音楽(モンゴル、トルコ、オーストラリア他)と多様である。司会、朗読、歌手とマルチに活動中。

土光洋子さんの「あこがれのイスタンブール77日の絵日記」の出版プロデュースも行う。

私たちはこのコンサートを応援します！！(順不同・敬称略・五十音順)

個人 衛藤邦夫 <日本コロムビア株式会社 A&C本部 コロムビアレコード・ビジネスユニット、プロデューサー>

木村眞一 <公益社団法人才能教育研究会業務執行理事、弁護士、少林寺拳法関東学生OB同友会会長、スズキ・メソッドOB・OG会会長>

窪田 豊 <有限会社ネオ・ムスク 石井好子事務所>

田島 忠 <あさがおの会(横田めぐみさんご家族支援の会) 代表者>

土光洋子 <日本画家・文筆家、「美人画抄」「土光のおじさま」「あこがれのイスタンブール77日の絵日記」を出版する。故・土光敏夫氏の一族>

羽鳥功二 <一般社団法人日本シャンソン協会代表理事、一般財団法人羽鳥文化振興財団代表理事>

松岡正信 <邦楽集団松風会(詩吟・琴・尺八・琵琶) 会長、株式会社日本コルビック代表取締役>

松野正義 <株式会社インターナショナル・カルチャー代表取締役>

宮前正明 <一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会理事、石川県中古自動車販売協会会長、石川県中古自動車販売商工組合理事長>

森 淑 <音楽プロデューサー、元・日本コロムビア株式会社芸芸部チーフ・プロデューサー>

渡辺勝正 <歴史家、大正出版株式会社社長、杉原千畝研究者>

渡辺 信 <財形信用保証株式会社代表取締役会長、元・中央労働金庫理事長、全日本・関東実業団少林寺拳法連盟会長>

団体 公益社団法人才能教育研究会、高橋法律事務所(代表弁護士 木村眞一)、日本学際研究所